

令和 6 年度

公 営 企 業 会 計 決 算 資 料

産 業 労 働 部

項	目	頁
---	---	---

公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1	損益収支の状況・・・・・・・・・・	3
2	今後の経営状況・・・・・・・・・・	4
3	事業収益の状況・・・・・・・・・・	5
4	事業費用の状況・・・・・・・・・・	6
5	企業債残高の推移・・・・・・・・・・	7

## 令和６年度 福井県公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

### Ⅰ 損益収支の状況

令和６年度の公営企業会計については、工業用水道事業会計以下４会計の純利益は合計で６億２，３０４万９千円となった。

工業用水道事業会計の事業収益は、７億５，５２６万５千円、事業費用は５億９，１９３万９千円となり、純利益は、１億６，３３２万６千円となった。この純利益については、今後の建設改良の財源として建設改良積立金に全額を積み立てる。

水道用水供給事業会計の事業収益は、３１億４，０８０万９千円、事業費用は２８億２，９３３万２千円となり、純利益は、３億１，１４７万７千円となった。この純利益については、減債積立金に２億４，５７５万８千円を積み立てるほか、建設改良積立金に６，５７１万９千円を積み立てる。

臨海工業用地等造成事業会計の事業収益は、４億２，２６６万６千円、事業費用は３億４，８１８万４千円となり、純利益は、７，４４８万２千円となった。この純利益については、前年度繰越利益剰余金と合わせて翌年度に繰り越すことにより、翌年度繰越利益剰余金は１３億３，１２９万９千円となった。

臨海下水道事業会計の事業収益は、１１億４，８９１万８千円、事業費用は１０億７，５１５万４千円となり、純利益は、７，３７６万４千円となった。この純利益については、建設改良積立金に全額を積み立てる。

「その他未処分利益剰余金変動額」については、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計、造成事業会計および臨海下水道事業会計の全ての会計について全額を資本金に組み入れる。

(単位：千円)

区 分		工業用水道事業	水道用水供給事業	臨海工業用地等 造 成 事 業	臨海下水道事業	合 計
事業 収 益	営 業 収 益	717,505	2,732,327	415,471	841,312	4,706,615
	営業外収益	37,760	408,482	7,195	307,606	761,043
	計	755,265	3,140,809	422,666	1,148,918	5,467,658
事業 費 用	営 業 費 用	591,681	2,731,381	348,184	1,074,509	4,745,755
	営業外費用	258	97,951	0	645	98,854
	計	591,939	2,829,332	348,184	1,075,154	4,844,609
純 利 益		163,326	311,477	74,482	73,764	623,049
前年度繰越利益剰余金		0	0	1,256,816	0	1,256,816
その他未処分利益剰余金変動額		113,264	886,996	479,171	3,024	1,482,455
当年度未処分利益剰余金		276,590	1,198,473	1,810,470	76,788	3,362,321
利益剰余金処分案		276,590	1,198,473	479,171	76,788	2,031,022
(1) 減債積立金		0	245,758	0	0	245,758
(2) 建設改良積立金		163,326	65,719	0	73,764	302,809
(3) 土地造成積立金		0	0	0	0	0
(4) 資本金		113,264	886,996	479,171	3,024	1,482,455
翌年度繰越利益剰余金		0	0	1,331,299	0	1,331,299

## 2 今後の経営状況

県営第一工業用水道事業については、安定した経営状況となっており、今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

福井臨海工業用水道事業についても、安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

坂井地区水道用水供給事業については、順調な経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

日野川地区水道用水供給事業についても、順調な経営状況となっており、今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用地等造成事業については、公共用地の転用による新たな産業用地を拡充する造成工事を段階的に行っている。今後とも関係部局と一層の連携を図りながら、新たな企業の誘致により造成区画の売却に努めていく。

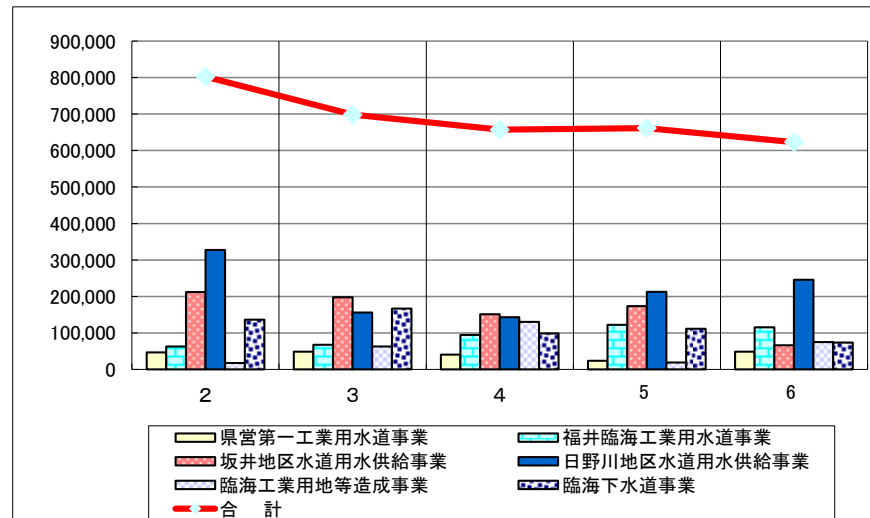
臨海下水道事業については、処理量は減少したものの安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

### 公 営 企 業 の 純 利 益 の 推 移

(単位：千円)

会 計 \ 年 度	2	3	4	5	6
県営第一工業用水道事業	46,495	48,418	40,553	23,348	48,171
福井臨海工業用水道事業	62,862	67,665	94,569	122,051	115,155
坂井地区水道用水供給事業	211,653	197,476	150,794	173,481	65,719
日野川地区水道用水供給事業	327,710	155,956	142,872	212,443	245,758
臨海工業用地等造成事業	17,639	62,310	130,285	18,988	74,482
臨海下水道事業	136,391	166,505	98,309	111,283	73,764
合 計	802,750	698,330	657,382	661,594	623,049

(単位：千円)



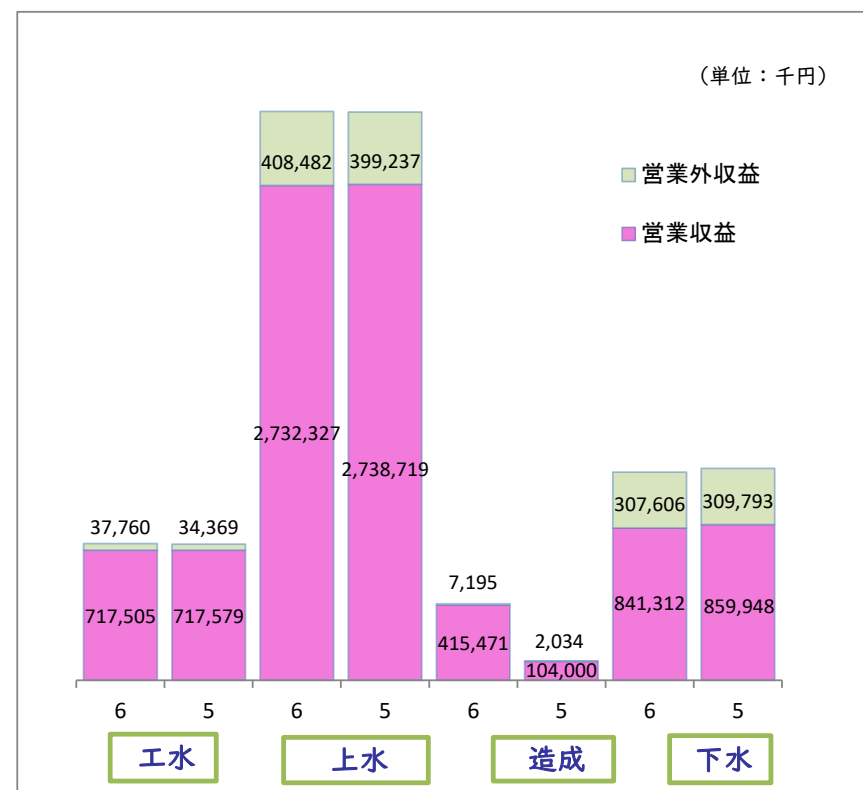
### 3 事業収益の状況

営業収益は、料金収入や土地売却収入を計上している。令和6年度の営業収益は、4会計合計で47億661万5千円となり、前年度に比べ2億8,636万9千円増加した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却収入の増加によるものである。

営業外収益は、受取利息や補助金等を計上している。令和6年度の営業外収益は、4会計合計で7億6,104万3千円となり、前年度に比べ1,561万円増加した。これは主に、4事業において受取利息が増加したことによるものである。

(単位：千円、%)

区 分 \ 年 度		6	5	対前年度比	
				増減額	増減率
工水	営業収益	717,505	717,579	△ 74	△ 0.0
	営業外収益	37,760	34,369	3,391	9.9
	合計	755,265	751,948	3,317	0.4
上水	営業収益	2,732,327	2,738,719	△ 6,392	△ 0.2
	営業外収益	408,482	399,237	9,245	2.3
	合計	3,140,809	3,137,956	2,853	0.1
造成	営業収益	415,471	104,000	311,471	299.5
	営業外収益	7,195	2,034	5,161	253.7
	合計	422,666	106,034	316,632	298.6
下水	営業収益	841,312	859,948	△ 18,636	△ 2.2
	営業外収益	307,606	309,793	△ 2,187	△ 0.7
	合計	1,148,918	1,169,741	△ 20,823	△ 1.8
合計	営業収益	4,706,615	4,420,246	286,369	6.5
	営業外収益	761,043	745,433	15,610	2.1
	合計	5,467,658	5,165,679	301,979	5.8



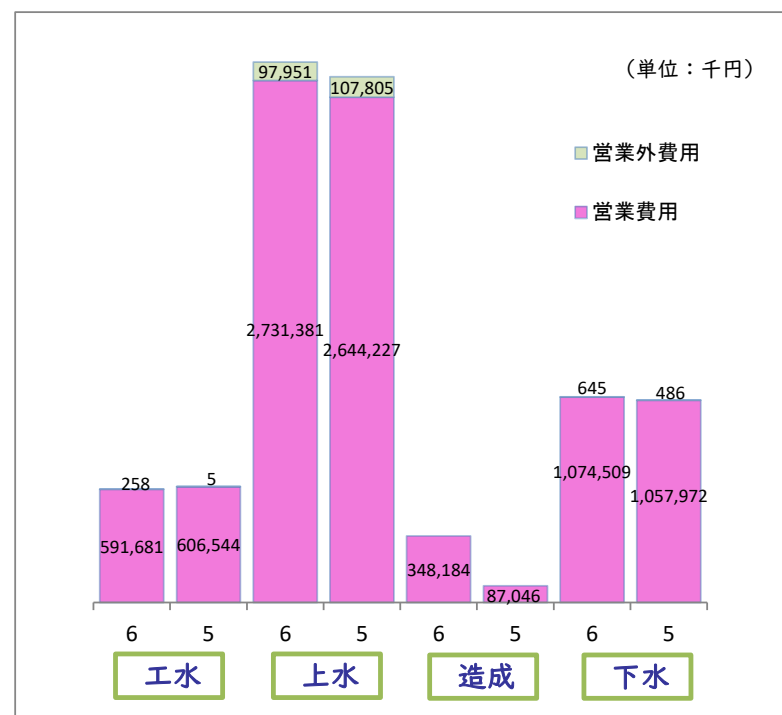
#### 4 事業費用の状況

営業費用は、管理運営費や減価償却費、土地売却原価を計上している。令和6年度の営業費用は、4会計合計で47億4,575万5千円となり、前年度に比べ3億4,996万6千円増加した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却原価の増加によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。令和6年度の営業外費用は、4会計合計で9,885万4千円となり、前年度に比べ944万2千円減少した。これは、主に水道用水供給事業の支払利息の減少によるものである。

(単位：千円、%)

年 度 区 分		6	5	対前年度比	
				増減額	増減率
工水	営業費用	591,681	606,544	△ 14,863	△ 2.5
	営業外費用	258	5	253	5,060.0
	合計	591,939	606,549	△ 14,610	△ 2.4
上水	営業費用	2,731,381	2,644,227	87,154	3.3
	営業外費用	97,951	107,805	△ 9,854	△ 9.1
	合計	2,829,332	2,752,032	77,300	2.8
造成	営業費用	348,184	87,046	261,138	300.0
	営業外費用	0	0	0	0.0
	合計	348,184	87,046	261,138	300.0
下水	営業費用	1,074,509	1,057,972	16,537	1.6
	営業外費用	645	486	159	32.7
	合計	1,075,154	1,058,458	16,696	1.6
合計	営業費用	4,745,755	4,395,789	349,966	8.0
	営業外費用	98,854	108,296	△ 9,442	△ 8.7
	合計	4,844,609	4,504,085	340,524	7.6



## 5 企業債残高の推移

企業債残高は年々減少しており、令和6年度末は、水道用水供給事業の43億7,171万5千円となった。

(単位:千円)

会計	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
上水	企業債残高	6,444,488	5,922,751	5,402,661	4,885,185	4,371,715
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	518,114	521,737	520,090	517,477	513,470

